

■内視鏡摘除手技の標準化・プロジェクト研究進捗状況

1) 「大腸腫瘍に対する大腸内視鏡治療後の遺残再発と偶発症症例の実態に関する多施設共同研究（後ろ向きアンケート調査）」

→ 結果は大腸癌研究会ホームページにUpload済み。

現在, Digestive Endoscopy投稿中。

2) 「最大径 20 ミリ以上の大腸腫瘍に対する各種内視鏡切除手技の局所根治・偶発症に関する多施設共同研究（前向きアンケート調査）: 前向きコホート研究」

→ 現在, 1000 例を目指して症例登録中。

エントリー状況（12月エントリー数：総エントリー数）

国立がんセンター中央病院	0人	182人
市立旭川病院	0人	49人
癌研有明病院	9人	79人
久留米大学	0人	16人
虎ノ門病院	0人	31人
広島大学	8人	89人
佐野病院	5人	49人
昭和大学横浜市北部病院	0人	4人
大阪府立成人病センター	7人	94人
大阪鉄道病院	5人	25人
調布外科・消化器科内科	0人	19人
帝京大学	10人	16人
東京女子医科大学	6人	61人
藤井隆広クリニック	0人	6人
福岡大学筑紫病院	1人	69人
北里大学東病院	9人	51人
国立がんセンター東病院	0人	27人
秋田赤十字病院	0人	12人

2009. 12. 31 現在・・・・・・・・合計60人：879人

症例登録後, 半年後と1年後に大腸内視鏡検査サーベイランスを行い, 局所遺残再発に関して解析予定。